



報道発表資料

2000年10月2日
インフォテリア株式会社

インフォテリアの iPEX が、日経ソフトウェア「エディタース・チョイス」を受賞

インフォテリア株式会社（東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎）は、2000年10月2日、同社が開発・販売している高性能 XML エンジン「iPEX」（アイベックス）が、日経 BP 社（東京都千代田区、代表取締役社長：吉村久夫氏）が主催する「第13回190万読者が選ぶパソコン・ベスト・ソフト」において日経ソフトウェア誌の「エディタース・チョイス」を受賞したことを発表しました。

「パソコン・ベスト・ソフト」は、1988年から毎年日経 BP 社が主催しているパーソナルコンピュータ用ソフトウェアのコンテストで、分野毎、対象誌毎にこの1年を代表するソフトウェアが選出されています。

日経ソフトウェア編集部では選考理由を「iPEX は、XML 文書の読み書きや編集操作などを支援する XML 処理エンジン。XML が企業間の EDI（電子データ交換）など情報システム分野で着実に浸透しつつある状況において、同製品は常に XML 最新仕様に準拠したものを取り入れ、その最新の仕様に沿った機能を開発者にいち早く提供している。Windows 95/98/NT/2000 に加え、Linux や Solaris、Macintosh、BeOS、Windows CE など幅広いプラットフォームに対応している点も評価した」としています。

iPEX は、アプリケーションソフトウェアを XML 対応にするための XML 処理ライブラリで、最新バージョンの 2.0 では、XML パーサー機能、DOM 処理機能、XSLT 処理機能、XPath 処理機能、URI 処理機能など XML 処理に必要な機能を網羅しています。iPEX は、NTT データオフィススマート社の「orderit」（オーダーイット）やインクリメント P 社の「MapFan」（マップファン）などをはじめ、既に 100 社以上の導入実績を持っています。さらに Linux 版は、国内のベストセラー Linux ディストリビューションである「ターボリナックス」に標準バンドルされるなど、XML 処理エンジンのスタンダードとしての数多くのソフトウェアやシステムの XML 対応に貢献しています。

インフォテリア株式会社について

インフォテリア株式会社は、1998 年、日本初の XML 専門ソフトウェア会社として設立された XML 分野のリーディングカンパニーです。東京と米ボストンに拠点を置き、世界市場に向けて XML 製品の開発と販売を行っています。インフォテリアでは、先進の XML テクノロジーをベースに XML の普及を促進するコンポーネント製品や、企業間電子商取引 (BtoB-EC) および企業間アプリケーション統合を XML ベースで行うためのソフトウェアを提供しています。

<http://www.infoteria.com/>

#

< お問い合わせ先 >

info@infoteria.co.jp

(電子メール)

<http://www.infoteria.com/>

(ウェブサイト)